

2018年12月4日
東急不動産株式会社

物流施設「LOGI'Q三芳」着工

～安心・安全で地域に調和した先進的な物流施設を目指して～

東急不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：大隈 郁仁、以下「東急不動産」）は株式会社 eco プロパティーズがアセットマネジメント業務を受託し、東急不動産他が共同出資する三芳町プロパティーズ特定目的会社を建築主とする物流施設「LOGI'Q三芳」（埼玉県入間郡三芳町所在）を、2018年12月に着工しましたことのお知らせ致します。

当社は、2016年度より物流施設開発事業に参入し、第一号案件「春日部物流センター」から、積極的に開発を進めております。今回の「LOGI'Q三芳」は、アスクル株式会社のニーズに合わせた物流施設を建設予定で2020年1月の竣工を目指しております。



「LOGI'Q三芳」(外観イメージパース)

交通面については東京外環自動車道「大泉IC」から約13km、関越自動車道「所沢IC」から約4.2km、同「三芳スマートIC」から約2.5kmに位置し、都内配送等優位性の高い立地です。

【外観・設備仕様などについて】

本物件の外観は「にほんの里100選」に選ばれた三富新田（さんとめしんでん）をデザインモチーフに取り入れた、地域の風景に溶け込む施設デザインとしており、前面道路に面した外構部には、地域の人々が安らげる緑溢れる遊歩道を計画しております。また施設内には眺めの良い厨房付き食堂や屋上庭園も計画し、働く人へ憩いの場を提供いたします。



設備につきましては平成30年3月の国土交通省からの告示を遵守し、「弱電耐火ケーブル」採用による感知器用ケーブルの短絡（ショート）防止措置と、断路器の設置による短絡の局限化措置を実施しております。また、平成30年3月に消防庁から発表されたガイドラインに従い、非常用進入口を建築基準法上求められる3階以上に加え2階の全防火区画にも設けることで、火災時の消防隊の内部進入を支援する措置をしております。更に、ガイドラインに則り外周部に接していない防火区画にスプリンクラー設備を設置することに加え、一部の外周部に面する区画にもスプリンクラー設備を追加することで延焼を防ぐなど、火災拡大を防ぐ対策を実施し、安心・安全で地域に調和した先進的な物流施設の開発を目指しております。

当社は総合デベロッパーとして、オフィスビル・商業・住宅・リゾートと多岐にわたる開発事業を推進して参りました。これまで培った総合不動産開発の実績を活かし、今後も物流効率化という社会ニーズに応えて参ります。詳しい情報は、<http://www.tokyu-logiq.com/> をご覧ください。



外観イメージパース



地鎮祭風景



■「LOGIQ三芳」施設概要

所在地：埼玉県入間郡三芳町上富 1163 番他
 用途地域：市街化調整区域
 主要用途：倉庫（倉庫業を営む倉庫）
 敷地面積：52,075.25 m²（15,752.76 坪）
 延床面積：71,100.87 m²（21,508.01 坪）
 建物構造：鉄骨造 3 階建
 着工：2018 年 12 月
 竣工：2020 年 1 月（予定）
 設計監理：浅井謙建築研究所株式会社
 施工：前田建設工業株式会社
 施主：三芳町プロパティーズ特定目的会社
 プロジェクトマネジメント：東急不動産株式会社
 アセットマネジメント：株式会社 eco プロパティーズ

床荷重：1.5t/m²
 柱スパン：11.45m × 10.00m
 梁下天井有効高：5,500mm 以上
 トラックスペース：145 台
 駐車場：普通自動車 64 台
 トラック待機所 74 台

■広域図



■詳細図

